

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	姫路大学
設置者名	学校法人弘徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信		12	126	138	13	-
教育学部	こども未来学科	夜・通信		26	134	160	13	-
	こども未来学科	夜・通信		7	91	98	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに公開している。 看護学部看護学科 https://koutoku.ac.jp/himeji/pdf/university/informationdisclosure/educational-info/2021kangojitsumu.pdf 教育学部こども未来学科 https://koutoku.ac.jp/himeji/pdf/university/informationdisclosure/educational-info/2021kyouikujitsumu.pdf 教育学部こども未来学科通信教育課程 https://koutoku.ac.jp/himeji/pdf/university/informationdisclosure/educational-info/2021tsuushinjitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	姫路大学
設置者名	学校法人弘徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表している。

<https://koutoku.ac.jp/assets/images/info/documents/r3-0601.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	建築設計会社 所長	H30. 3. 1～ R4. 2. 28	校舎維持管理に関する事項
非常勤	教育機関 経営	H30. 5. 1～ R4. 4. 30	教育の向上に関する事項
非常勤	警備会社 顧問	R1. 6. 12～ R5. 6. 11	危機管理に関する事項
非常勤	警備会社 顧問	R1. 6. 12～ R5. 6. 11	危機管理に関する事項
非常勤	法律事務所 弁護士	R2. 4. 1～ R6. 3. 31	コンプライアンスに関する事項
非常勤	市町村 副市長	R2. 4. 1～ R6. 3. 31	社会連携に関する事項
(備考) 理事の学外者は全員で6名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	姫路大学
設置者名	学校法人弘徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>通学課程では、以下のように作成し、公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)は科目担当教員と十分な協議のうえ作成している。 ・授業計画(シラバス)は前年度2月～3月に完成する。 ・授業計画(シラバス)は大学からの情報提供(メッセージ、休補講・教室変更等)や履修登録等のシステムを利用するためのActive Portalサイト及び本学ホームページ上にて掲載している。 <p>このActive Portalサイトには、</p> <p>① 授業概要、② 授業計画、③ 到達目標、④ 教科書・参考書、⑤ 評価方法等の項目について科目ごとに作成し、掲載するとともに、閲覧できるようになっている。</p> <p>通信教育課程では、以下のように作成し、公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)は科目担当教員と十分な協議のうえ作成している。 ・授業計画(シラバス)は前年度2月～3月に完成する。 ・本学ホームページにて公表するとともに、毎年発行する本校スクーリングのしおり・授業概要に掲載している。 <p>この授業概要には、</p> <p>① 授業の到達目標及びテーマ、② 授業計画、③ テキスト・副読本、④ 事前課題、⑤ 学生持参品、⑥ 学生に対する評価</p> <p>以上の6項目について面接科目ごとに作成し、掲載するとともに、全学生に配付している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>通学課程ではホームページにて公表している。 https://a3web.ap-cloud.com/web_himeji/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010</p> <p>通信教育課程では、ホームページにて公表するとともに、毎年発行する本校スクーリングのしおり・授業概要に掲載し、全学生に配付している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/pdf/university/informationdisclosure/educational-info/2021tsuushin-syllabus.pdf</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>通学課程では、成績評価方法は、授業での課題への取組み・提出状況、出欠状況、意欲、試験結果等を勘案し、科目ごとに授業計画（シラバス）に記載している。成績は100点満点で60点以上を合格とし、5段階 秀（100点～90点）・優（89点～80点）・良（79点～70点）・可（69点～60点）・不可（59点以下）にて評価し、厳格かつ適正に単位を授与している。</p> <p>通信教育課程では、通信教育の履修方法として ①印刷教材、②面接授業、③印刷教材と面接授業の併習 の3通りの履修方法がある。この履修方法ごとに成績評価の方法が以下のように設定している。 ①レポート、科目試験、②スクーリング受講、③レポート、スクーリング受講後の単位認定試験</p> <p>この3通りの履修方法それぞれに評価方法を定めており、レポートについては科目ごとにレポート評価基準を設定し、その可否を評価している。科目試験については科目試験問題採点基準を設定し、100点満点で60点以上を合格とし、得点領域を5段階SABCDにて評価している。スクーリング受講科目については本校スクーリングのしおり・授業概要に掲載している授業概要（シラバス）に、学生に対する評価を記載し、適正な評価を実施している。</p>
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>通学課程ではGPA制度を導入し、以下の方法で各学期末に成績通知書により通知している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学生：看護学部・教育学部の全学生を対象とする。 ・評価方法：授業科目の5段階評価 秀・優・良・可・不可 = GPA 4・3・2・1・0とし、各学生の1単位あたりの平均値を算出し、分布図を作成している。 <p>通信教育課程では今年度からGPA制度を導入し、ホームページで以下の通り公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学生：正科生を対象とする。 ・評価方法：その学生が1年次で履修登録したすべての科目の成績評価より算出する。5段階評価 S・A・B・C・D = GPA 4・3・2・1・0点とし、各学生の平均点を算出し、平均点の分布図を作成する。 ・学生によって履修科目数に差があり、不公平感が否めないが、今回の算出では無視する。
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>通学課程では、入学年度に配付する学修便覧（ホームページにて公表）に記載し、オリエンテーション時に学生へ説明している。</p> <p>https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/educational-info/evaluation/</p> <p>通信教育課程では、ホームページ上に算出方法を記載し、学生に対し公表する。</p> <p>https://koutoku.ac.jp/himeji/pdf/university/informationdisclosure/educational-info/r_univ_c2021.pdf</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

通学課程では、各学部ともに以下のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を定め、教育理念・教育目標等に基づく具体的な資質・能力の目標の達成を明確にしており、本学ホームページ上や学修便覧の配付により公表している。

看護学部ディプロマ・ポリシー

- ・確かな倫理観に基づいたヒューマンケアリングの基礎的能力を修得し、幅広い視野を持ち、看護を統合的に考える力を身につける。
- ・保健・医療・福祉に携わる多職種と連携し、チーム医療の中での看護師の役割を理解し、リーダーシップ力とマネジメント力を身につける。
- ・国際的動向に関心を持ち、それぞれの国や地域の文化の相違を踏まえて、グローバルな視点から看護師としての役割を理解し、行動できる基礎的能力を身につける。

教育学部ディプロマ・ポリシー

- ・保育・教育の実践に必要な倫理観・知識・態度を習得し、指導できる力を身に付けていること。
- ・保育・教育に対する使命感と責任感を理解し、教育的課題を解決するために必要な専門基礎力を身に付けていること。
- ・広い視野から他者と協働できる社会性やコミュニケーション能力を身に付けていること。

また、卒業の認定の実施については、教務・学生・厚生課において卒業該当者全員の卒業要件を確認した認定案を作成し、教務委員会にて事前審査を行ったうえ、下記の姫路大学学則第34条に基づき、教授会（卒業判定会議）に上程・審議のうえ、学長が卒業を認定している。

「姫路大学学則」

(卒業の認定)

第34条 本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、看護学部は126単位、教育学部は124単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長は卒業を認定する。

通信教育課程では、卒業の認定方針その他要件は本学の「通信教育課程規程」に以下の通り定めている。

(卒業の要件)

第38条 卒業には、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 4年以上在学すること。
- (2) 第13条に定める教育課程から、合計124単位以上を修得していること。
- (3) 前号の修得単位のうち、30単位以上を面接授業により修得していること。

(卒業の決定・学位記)

第39条 前条の要件を満たした者には、代議員会の議を経て、学長が卒業の決定を行う。

2 前項により卒業が決定した者には、学士（教育学）の学位を授与し、「学位記」を交付する。

3 学位及びその授与等に関しては、別に定める本学学位規程による。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	通学課程では、ホームページにて公表している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/university/ educational_policy/ 通信教育課程では、毎年発行する学習便覧に通信教育課程 規程を掲載し、全学生に配付している。 <a href="https://koutoku.ac.jp/himeji/class/tuusinkyuiku_katei/
educational_policy/">https://koutoku.ac.jp/himeji/class/tuusinkyuiku_katei/ educational_policy/
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	姫路大学
設置者名	学校法人弘徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
収支計算書又は損益計算書	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
財産目録	ホームページへ掲載している（主項目のみ） https://koutoku.ac.jp/info/
事業報告書	ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
監事による監査報告（書）	ホームページへ掲載している（デフォルト版印省略） https://koutoku.ac.jp/info/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和3年度事業計画 対象年度：令和3年度）
公表方法：ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/
中長期計画（名称：学校法人弘徳学園中長期計画 対象年度：令和2年度～令和7年度）
公表方法：ホームページへ掲載している https://koutoku.ac.jp/info/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページへ掲載している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/jikotenken/
--

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページへ掲載している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/evaluation_report/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部看護学科
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページ、学修便覧)
<p>(概要)</p> <p><理念></p> <p>看護学部は、建学の精神に則り、生命を尊重し、人間の尊厳と権利に関する深い洞察力を持ちながら、人々の健康と福祉の向上に貢献する看護の専門家を育成することを目的とする。すなわち、柔軟な視野を持ち、看護の専門的知識と確かな技術を備えた実践家であり、慈愛に満ちた優しい心と信念を持って、人々に寄り添い、人々と共に行動する専門職業人として育つ環境を整えることが本学部の使命である。</p> <p>また、教育、研究、および実践を通して、実践科学としての看護学の知識・技術の開発・検証を担い、学問体系の確立を目指すとともに、地域社会における人々の「生活の質 (Quality of life)」の向上を目指し、保健、医療、福祉の分野の統合的な施策を実施することを通して、地域に開かれた大学 (学部) となることを目指している。</p> <p><教育目標></p> <p>看護学部の教育目標は、看護学士としての学士力と看護実践能力の育成を目指して、次の 5 つを設定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できるヒューマンケアリングの基礎的能力を養います。 ・ 「自立と自律」に価値を置き、人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復のために、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる基礎的能力を養います。 ・ 保健・医療・福祉の統合的・継続的なサービス提供に必要なリーダーシップとマネジメントの基礎的能力を養います。 ・ 人々の生命や健康への脅威、生活の破綻に対して、グローバルな視点から問題解決に向けた看護を考え、行動できる基礎的能力を養います。 ・ 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽し、看護をイノベーションしていく基礎的能力を養います。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページ、学修便覧)
<p>(概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな倫理観に基づいたヒューマンケアリングの基礎的能力を修得し、幅広い視野を持ち、看護を統合的に考える力を身につける。 ・ 保健・医療・福祉に携わる多職種と連携し、チーム医療の中での看護者の役割を理解し、リーダーシップ力とマネジメント力を身につける。 ・ 国際的動向に関心を持ち、それぞれの国や地域の文化の相違を踏まえて、グローバルな視点から看護者としての役割を理解し、行動できる基礎的能力を身につける。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページ、学修便覧)
<p>(概要)</p> <p>カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「共通教育科目」では、人類の文化、社会、自然、地域から広く人間を理解するための視点を養うことを主眼に、教養、外国語、情報の理解に関する科目を配置している。これらの履修を通して、専門支持科目や専門教育科目への導入を図る。また、1 年次にゼミナールを配置し、大学での学び方に関する機会を設ける。

- ・「専門支持科目」では、からだの働き、疾病・治療、専門基礎に関する科目を配置している。保健医療福祉に携わる多他職種と連携して行動できるために、看護専門職者として必要な人間理解、健康と疾病理解、保健・社会の仕組みの理解を通して看護者の役割を理解し、行動できる力を修得する。2年次から3年次は看護専門科目の基盤となる力を強化する。また、人間を全人的に理解するために、人体の構造や機能、心の発達、社会の仕組み、法制度等について、理解を深める。
- ・「専門教育科目」では、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学、グローバルヘルス、看護の統合と実践に関する科目を配置している。これらの科目をとおして、看護の対象となる人間の権利を理解し、看護実践の基盤となる看護専門職者としてのモラルを身につけ、倫理的看護実践の根拠を理解する。各看護学領域の概論で対象者の概要を理解し、援助論では看護の必要性と方法を学び、さらに、臨地実習においては学内で学んだ看護を対象者に応用し、科学的、統合的な看護を実践できる能力を身につける。
- ・選抜制で、「保健師課程」「助産師課程」を開講している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、学修便覧）

（概要）

アドミッション・ポリシー

- ・人々の生命や健康に対して強い関心を持ち、看護の専門職者を目指す意思がある人。
- ・生涯にわたり自己研鑽を重ね、幅広い知識を身につけたいという好奇心旺盛な人。
- ・自ら学ぶ意欲を持つ人。
- ・他者と協力して行動できる人。

学部等名 教育学部こども未来学科

教育研究上の目的（公表方法：ホームページ、学修便覧）

（概要）

<理念>

教育学部は、建学の精神に則り、将来のわが国を担うこども達の育成という崇高な任務を自覚し、広い視野を持ちつつ、こども達の現実の課題を直視し、一人ひとりを大切に育ていこうとする強い使命感を持つとともに、こども達の発達支援の専門家として誰からも信頼される教育者の養成を目指す。

また、本学部は、その教育、研究を通して、乳幼児期から少年期のこどもの連続的な育ちを支援するための保育・教育のあり方を探求し、実践的なこども学および全体的かつ体系的な保育・教育実践学の推進に努める。

<教育目標>

- ①人間、社会、文化、健康などに関する知識や教養を深め、主体的な自己確立と豊かな人間性の涵養を図ること。
- ②幼児期から少年期のこどもの心と体について幅広い知識と深い洞察力を培い、確かな生活力、学ぶ力、豊かな人間性など、こども達が社会で生きていく力を育成するための教育的実践力を養うこと。
- ③幼児期のこどもの成長・発達を中心として、こどもの心に共感できる感性、豊かな養育力やケアの精神に溢れた子育て力の育成を図ること。
- ④乳幼児期から少年期のこどもの発達や学びの連続性を重視し、遊びから学習へ発展させていく指導力を養うこと。

- ⑤多様化するこどもの発達支援、とくに発達障害のあるこどもの発達支援に資する療育的、看護的実践力の基礎を培うこと。
- ⑥地域に生き、地域と協働できるボランティア精神を備えるとともに、地域社会に積極的に溶け込み、地域社会のために貢献しようとする教育者を養成すること。
- ⑦国際化が進展する世界にあって、その持てる力を国境を超えて発揮し、世界のこども達の健全な成長のために貢献しようとする行動力を持った、国際性豊かな教育者を養成すること。

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ、学修便覧）

（概要）ディプロマ・ポリシー

- ・保育・教育の実践に必要な倫理観・知識・態度を習得し、指導できる力を身に付けていること。
- ・保育・教育に対する使命感と責任感を理解し、教育的課題を解決するために必要な専門基礎力を身に付けていること。
- ・広い視野から他者と協働できる社会性やコミュニケーション能力を身に付けていること。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、学修便覧）

（概要）カリキュラム・ポリシー

・教育学部では、保育・教育に必要な倫理観・知識・態度を修得し、教育的課題の解決に必要な実践力を身に付けた人材を育成するために、教育課程を「共通教育科目」、「専門教育科目」、「卒業研究」の3つの分野で構成している。

「共通教育科目」では、人文、社会、自然・健康、外国語・情報、基礎ゼミの学修を通して教育者として必要な研究力の基礎を身に付ける。

「専門教育科目」は「教職科目」、「教科科目」、「保育等科目」、「養護科目」の4つの科目で構成され、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、養護教諭一種免許状および保育士資格の取得のために必要な知識・技能の修得を目指す。保育・教育に関する専門教育科目を通して、こどもの成長・発達に関する知識・理解、教育的実践力、子育て力、発達支援に資する療育的・看護的実践力を身に付ける。

「卒業研究」では、各専門分野の学修成果を生かした保育・教育研究に取り組む。保育・教育に関する全般的な知識・技能の修得を基盤とし、保育・教育の実践に必要な専門基礎力が修得されるよう科目を配列し、各免許状・資格の取得を目指し効果的に履修できるよう教育課程を構成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、学修便覧）

（概要）アドミッション・ポリシー

- ・教育学部に対し非常に強い入学意思を持つ者で、小学校教諭、幼稚園教諭、養護教諭、保育士を目指す人。
- ・豊かな感性を持ち、積極的にこどもとのコミュニケーションを図る意欲のある人。
- ・他人を思いやる心と、自ら社会の発展に寄与するという強い意志のある人。

学部等名 教育学部こども未来学科（通信教育課程）
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ、募集要項）
<p>（概要）</p> <p><理念></p> <p>本学部は建学の精神である「教育の目標は、人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成することにある」のもと、将来のわが国を担うこども達の育成という崇高な任務を自覚し、広い視野を持ちつつ、こども達の現実の課題を直視し、一人ひとりを大切に育ていこうとする強い使命感を持つとともに、こども達の発達支援の専門家として誰からも信頼される教育者の養成を目指す。</p> <p>また、通信教育課程では経済的負担を出来る限り小さくして、学生が努力することで、いつでも、どこでも、誰でも、学校教育に携わる資格を取得する機会を与えることを目的とした。この理念のもと、本通信教育課程では下記の教育目標を定めている。</p> <p><教育目標></p> <p>①出生から少年期のこどもの成長・発達や学びの連続性を重視した幅広い知識と深い洞察力を培うことを教育課程の中核とし、こども達が社会で生きていく力を育成するための教育的実践力を養う。</p> <p>②発達障害のあるこどもの支援に資する療育的、看護的実践力の基礎を培う。</p> <p>③地域社会に積極的に溶け込み、地域社会のために貢献できる教育者を養成する。</p> <p>④国際化が進展する世界にあって、こども達が国際社会に貢献できるよう行動力を持った、国際性豊かな教育者を養成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ、募集要項）
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に携わる専門分野の基礎的な知識を身に付けていること。 ・教育現場における様々な課題に対して、臨機応変に適切な対応ができる力を身に付けていること。 ・公共的責任感や倫理観を育み、知識と能力を社会に還元し、教育職業人としての模範となる姿勢を身に付けていること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、募集要項）
<p>（概要）カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部通信教育課程の4つの教育目標を達成するために、主体的な自己を確立し、豊かな人間性と様々な教育の場面に適切に対応できる思考力、判断力、情報処理能力の基礎を養い、幅広い教養と多様な視点を身に付けることの出来る科目を設定している。「教職科目」、「教科科目」、「保育等科目」、「養護科目」の4つの専門分野で構成されているが、いずれも必要な専門知識に関して理論と実践を統合しながら学べるよう設定されている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、募集要項）
<p>（概要）アドミッション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育専門職になる強い意欲と確固たる意志を持ち、教育者として社会に貢献するという向上心を持ち、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭、保育士を目指す人。 ・教育に関する幅広い分野に興味を持ち、将来その分野で活躍する意欲のある人。 ・図書館司書、学校図書館司書教諭、学芸員として地域社会に貢献できる人材として活躍する意欲のある人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページにて公表している。
<https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/educational-info/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2人	－					2人
看護学部	－	16人	8人	4人	9人	5人	42人
教育学部	－	14人	5人	7人	人	人	26人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		39人					39人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページにて公表している。 (看護学部看護学科) https://koutoku.ac.jp/himeji/class/kango_gakubu/teacher/ (教育学部こども未来学科) https://koutoku.ac.jp/himeji/class/kyoiku_gakubu/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	100人	101人	101.0%	400人	402人	100.5%	－人	－人
教育学部	80人	57人	71.3%	320人	276人	86.3%	20人	7人
教育学部 (通信)	1,000人	94人	9.4%	4,600人	478人	10.4%	300人	88人
合計	1,180人	252人	21.4%	5,320人	1,156人	21.7%	320	95人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	98人 (100%)	0人 (0%)	90人 (91.8%)	8人 (8.2%)
教育学部	31人 (100%)	1人 (3.2%)	29人 (93.6%)	1人 (3.2%)
合計	129人 (100%)	1人 (0.8%)	119人 (92.2%)	9人 (7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学通学課程では、以下のとおり行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画 (シラバス) は科目担当教員と十分な協議のうえ作成している。 ・ 授業計画 (シラバス) は前年度 2 月～3 月に完成する。 ・ 授業計画 (シラバス) は大学からの情報提供 (メッセージ、休補講・教室変更等) や履修登録等のシステムを利用するための Active Portal サイトおよび本学ホームページ上にて掲載している。 <p>この Active Portal サイトには、</p> <p>① 授業概要、② 授業計画、③ 到達目標、④ 教科書・参考書、⑤ 評価方法等の項目について科目ごとに作成し、掲載するとともに、閲覧できるようになっている。</p> <p>通信教育課程では、以下のように作成し、公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画 (シラバス) は科目担当教員と十分な協議のうえ作成している。 ・ 授業計画 (シラバス) は前年度 2 月～3 月に完成する。 ・ 本学ホームページにて公表するとともに、毎年発行する本校スクーリングのしおり・授業概要に掲載している。 <p>この授業概要には、</p> <p>① 授業の到達目標及びテーマ、② 授業計画、③ テキスト・副読本、④ 事前課題、⑤ 学生持参品、⑥ 学生に対する評価</p> <p>以上の 6 項目について面接科目ごとに作成し、掲載するとともに、全学生に配付している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学通学課程では GPA 制度を導入し、以下の方法で各学期末に成績通知書により通知している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学生：看護学部・教育学部の全学生を対象とする。 ・評価方法：授業科目の5段階評価 秀・優・良・可・不可 = GPA 4・3・2・1・0 とし、各学生の1単位あたりの平均値を算出し、分布図を作成している。 <p>本学通信教育課程では、通信教育課程規程に基準を定義し、ホームページで公表している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/pdf/university/informationdisclosure/educational-info/r_univ_c.pdf</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	126 単位	有・無	単位
教育学部	こども未来学科	124 単位	有・無	単位
	こども未来学科 (通信)	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：ホームページへ掲載している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/educational-info/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	1,100,000 円	200,000 円	580,000 円	施設設備費、実験実習費
教育学部	こども未来学科	900,000 円	200,000 円	250,000 円	施設設備費
	こども未来学科 (通信)	130,000 円	30,000 円	10,000 円	選考料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) ホームページにて公表している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/campas_life/support/
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) ホームページに公表している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/career/sien/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) ホームページにて公表している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/campas_life/support/counseling/

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて公表している。 https://koutoku.ac.jp/himeji/university/activities_policy/
